マネージャーレポート 冬季多摩リーグ5回戦目 vs 都立立川高校



立川高校は、シュート率が高かったです。ダブルチームをするなどディフェンスのプレッシャーが強かったです。また、ドライブして中に入ることが多く、本校のカバーが追いつかないということがありました。

本校は、リバウンドがよく取れていました。オフェンスリバウンドがよく取れていて、そのままシュートを決めていました。そのような流れをたくさんできていたので高得点に繋がりました。また、スクリーンアウトを意識してできていたのが良かったと思います。後半はディフェンスも正面から入っていてグットディフェンスしてる場面が多かったです。カットインを行っている場面が多く、そこで点数をとっていました。しかし、シュートの確率が低かったです。本数はたくさん打てていたけれど決められてはいなかったです。ミドルシュートやゴール下などの確率を上げられるようにしていきたいです。また、1番の課題となるのがファウルです。いらないところでしていたりと体でディフェンスできるところはしていきたいです。最終的にチームファウルが溜まってしまって相手校にフリースローを与えてしまいました。前回の試合でも課題となっていたので直していきたいです。

ルーズボールが取りきれていないのでそこも粘り強くいきたいです。

冬季多摩リーグは5位という結果になりました。選手たちはこの多摩リーグに向けて1月中旬から頑張ってきました。試合でプレーしている選手達はとてもかっこよかったです。練習を日頃から見て強い熱量を感じているマネージャーはとても誇らしい結果だと思っています。このまま、関東予選や練習試合なども頑張っていきたいです。